

我らは若あゆ

関市立武芸川中学校
学校だより 3月号
R6.3.19発行

◆卒業証書授与式 ～46名の門出を祝って～

【学校長 式辞】（要旨）

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。三年間は長かったですか、それとも短かったですか。皆さんが手にした卒業証書には、楽しかったことや、苦しかったことなど、さまざまな思い出が織り込まれています。その卒業証書を大切に、武芸川中学校の卒業生であるという誇りと自信をもって新しい道に進んでください。卒業生の皆さんが過ごした中学校生活の三年間には、コロナ禍も終息し、大きな変化がありました。そんな環境の変化にも皆さんは柔軟に対応し、日々の生活や授業を充実させてきました。

ここで、卒業式にあたり、はなむけの言葉を二つ贈りたいと思います。一つ目は、「信じて、鵜呑みにしない」ということです。例えば、人の話を聞く時、言われたことを無条件で信じるのではなく、「それはなぜか?」「本当にそうか?」などの疑問を投げかけ、自分なりの答えを探しながら聞くことは、非常に重要です。なぜなら、本当の理解、自分事としての理解に近づくためにはとても大切だからです。大切な選択や決断をする時も「これで大丈夫」と自分の判断を信じる一方で、「なぜそうしたいのか?」「ほかの考えはないか?」など、疑うこともしてみましょう。そのようにして得た答えの一つ一つが、将来の皆さんの人生を支えてくれるはずですよ。二つ目は、「目標をもち、努力を積み重ねる」ということです。武芸川中学校の校歌には、「たくましくつつましく 力を育む」という言葉があります。人間は目標を意識して謙虚に努力を重ね、自分の力を蓄えるべきであるという意味です。この歌詞は、まさに昔の人々の教えに通じる部分です。皆さんが生きるこれからの時代は、科学技術の急速な進歩や経済のグローバル化等によって先の見通しが立たない変化の激しい世の中であると言われています。だからこそ、そのような時代に生きる皆さんには、一人ひとりが状況をよく考え、よりよい解決策を判断し、主体的に行動することが求められています。武芸川中で皆さんは「主体的に行動する生徒」を目指してきましたが、それはこれからの時代に必要な力です。皆さんならば、これからの生活、そして、その先の人生において、これまで学んだ力を発揮し、新たな自分や社会を創り出すことに取り組めると信じています。

令和6年3月8日 関市立武芸川中学校長 藤根 隆

【在校生送辞】（要旨）

春の足音が聞こえると、私にはよみがえる記憶があります。それは、入学説明会です。新型コロナウイルスの影響で、直接中学校に行くことはできませんでした。しかし、オンラインからでも、先輩方の工夫や熱意は十分届いていました。私たちを快く迎えてくださった優しい先輩方の大きな存在を、今でも鮮明に覚えています。

私たちの中学校生活での不安や緊張を取り除いてくださったのは、いつも先輩方でした。朝、元気に挨拶をしてくださる姿、会ったときに気さくに話しかけてくださる姿に、僕たちの当初抱いていた不安は消え去りました。生徒会や委員会の活動では、学校を更によりよくするための活動をたくさんしていただきました。武芸川中学校の伝統を守るため、新たな伝統を創るために、幾多の話し合いを重ねる姿、最高学年としての立ち居振る舞い、どの姿も私たちの目標であり、憧れでした。体育大会では、団長を中心として、先輩方が私たちをリードしてくださいました。オン・オフの切り替えが素早い所、こういった細かい部分にも圧倒されました。11月の合唱発表会では、私たちが練習している教室まで、先輩方の美しい歌声が響いてきたことを思い出します。今まで思うように合唱をすることができなかつた悔しさをぶつけるような力強く美しい、私たちの心と広いホールによく響く、素晴らしい合唱を聞かせてくださいました。大舞台でも堂々と歌う先輩方の姿から、固い絆と強い信頼関係がひしひしと伝わってきました。2月初旬の伝え学ぶ会では、自分の生き方を堂々と語っておられました。私たち後輩は、日々の生活から目標やこだわりを持って生きることに対しての大切さを学びました。自分の今後や未来について、深く考えさせられたこの会を、一生、忘れることはないでしょう。

皆さんは、私たちに数多くの手本を示してくださいました。そんな皆さんの姿を明日から見るができなかつたと思うと、とても心細くなります。私たちは、皆さんに比べると、まだまだ未熟ではありますが、先輩方が築いてくださった伝統を受け継ぎ、発展させ、更によりよいものへとしていくために、全力を尽くしていきます。だから、安心して新しい世界へと羽ばたいてください。

在校生代表 山田 力丸

【卒業生答辞】（要旨）

私たち46名は、卒業を迎えることができました。

5月9日。これは、私たちが出会ってから今日まで、共に過ごしてきた時間です。何気なく過ごしてきたその日々には、ありふれていたけれども、かけがえのない思い出がたくさん詰まっています。言うまでもありませんが、私たちがこのような充実した三年間を過ごすことができたのも、多くの方々の支えがあったからです。令和5年4月、私たちは、最高学年として武芸川中学校の顔となり、1・2年生のお手本となれるよう、三本柱の「あいさつ」「掃除」「合唱」をはじめ、どの活動にも全力で取り組んできました。その象徴が、「体育大会」です。団長や副団長を中心に、私たちが最高学年として先頭に立ち、事前取組の段階から、時間行動や各競技の練習に精一杯取り組み、1・2年生のお手本となる姿を見せるべく全力を尽くしました。みんなで一つのバトンを繋いでいくリレーや、みんなの気持ち一つ一つにして跳ぶ「飛躍」など、勝ち負け関係なく、仲間と力を合わせることの喜びを味わうことができました。

中学校生活最後の「合唱発表会」では、どうしたらより良い合唱を創り上げることができるかを仲間と試行錯誤しながら取り組みました。足並みがそろわず、なかなか声が出ない中、パートリーダーや合唱委員が粘り強く働きかけてくれたおかげで、今までで一番よい、満足のいく合唱を披露することができました。私たちの合唱が、武芸川中学校の今後の伝統の指針となってくれたらと考えています。

また、生徒会活動についても、スローガンの「一笑懸命」の達成に向けて取り組んできました。その中でも、挨拶活動に力を入れ、毎朝、執行部や係のみんなで生徒玄関の前に立つことをはじめ、日々の挨拶が広まるように取り組んできました。徐々に生徒同士の挨拶が増え、取組の成果が実感でき、とてもうれしく思いました。

そばにいたことが当たり前だと思っていた友達。私たちは、こんなにも大切な宝物をいつの間にか見つけていたからこそ、今日という日まで三年間、がんばることができたのだと思います。一緒に泣いたり、笑ったりするのも今日が最後だと思うと、とてもさびしく思います。今日を境に、別々の道に歩いていきますが、私たちの間に生まれた強い絆は一生消えません。私たちは、これからはずっと友達です。今まで本当にありがとう。

在校生の皆さん、私たちの学年を支えてくれてありがとう。皆さんがいてくれたからこそ、最高学年としての自覚をもち、がんばってることができました。今、私たちからみなさんへ、武芸川中学校のバトンをつなぎたいと思います。そして、この武芸川中学校をさらに発展させていってください。

卒業生代表 西村 文翔

◆生徒会新役員決まる（3月15日）

令和6年度前期の生徒会役員選挙が行われ、新執行部と委員長が決まりました。

今年度中の各自の実践をもとに公約を力強く訴え、信任されました。願いを受けて、全校の皆さん、協力して盛り上げましょう。

会長	田内 彩七	給食委員長	奥田 希香
副会長	宮口 直之	整美委員長	ホモノリカ
執行委員	井藤隼之祐	図書委員長	山口 結
執行委員	川口 未来	保体委員長	辻 ひなの
執行委員	山田 力丸	合唱委員長	長井 一世
生活委員長	鈴木 晴翔	全校教科係長	大野 優菜

◆多様性とは～車いすバスケ講演会～生き方を学ぶ

今日、バスケットボール体験と講話を聞いて目標に向かって努力し続けていることは私たち自身とまったく同じなんだと思いました。何をやってもうまくいかなくても、やり続けられる精神はとてもまねしていきたいと思いました。誰かが困っている時にふとした瞬間に手をさしのべられるような人に自分自身になりたいです。（1年生）



今日の子椅子バスケで3人ともすごく楽しそうだったしすごく上手にバスケをしていてびっくりしました。

4時間目のお話では世界では多様性が大事で私は困っている人を助けたり、差別をせずに人と接したりして行きたいです。挑戦をしないであきらめたり、チャレンジをするのが怖くて何もしないでやめてしまったりする時があるので、何事もチャレンジして自分の好きなことを見つけて頑張りたいです。（1年生）

◆明日を担う人づくり事業を体験

今年度は、FIT株式会社をお招きして「次世代のものづくり」と題して1年生がロボット体験をしました。講師の早川さんから事前アンケートをもとに最先端技術について分かりやすく講義をしていただきました。10年後の凄まじい技術進歩を想定して、ワクワク感をもちながら様々なことを学び、挑戦していくことの大切さを知りました。



◆命を守る訓練～自分の命を自分で守る～

教室内でシェイクアウト訓練をした後、岐阜地方気象台からお招きした講師の方から、緊急地震速報の仕組み・自主防災・土砂災害等について学びました。いつ、発生するか分からない南海トラフ地震の備えについて分かりやすく教えていただきました。

◆諸活動の活躍の記録

大会名および部門等	記録	個人名
第40回中部日本個人・重奏コンテスト (個人の部) 岐阜県大会予選	金賞	部谷文音 渡邊小町
	銀賞	鶯飼七瀬 早川希歩 山田鈴夏 鷺見仁穂
	銅賞	永井 漣
第28回管打楽器ソロコンテスト岐阜県部会選考会	奨励賞	部谷文音 渡邊小町

◆4月の行事予定

月	日	曜	行 事 (予定)	月	日	曜	行 事 (予定)
4月	8	月	着任式・入学式・始業式	4月	18	木	全国学力調査(3年生)・PTA 実行委員会 生徒議会
	9	火	給食開始 課題確認テスト(2・3年生)		19	金	市教科研究会
	10	水	命を守る訓練		20	土	PTA授業参観・総会 学級・学年懇談会 部活動親の会
	11	木	時間割スタート・地区別生徒会		22	月	内科検診13:30～(2・3年生)
	12	金	PTA 本部役員会		23	火	委員会・報告会
	15	月	安全点検日・タブレット点検		24	水	眼科検診15:00～
	16	火	尿検査①		26	金	尿検査②未提出者
	17	水	歯科検診9:00～				

※20日の振替休業日は、5月2日(木)です。それぞれの詳細は案内文等でお確かめください。